

(学) 長橋学園 杉田幼稚園の令和元年度 自己評価及び学校関係者評価結果

令和 2 年 2 月 26 日

(学)長橋学園 杉田幼稚園

1、幼稚園(杉田幼稚園)の教育目標

教育基本法及び学校教育法を基本として、幼稚園教育(幼児教育)を推進し、豊かな心を持つ人を育成することを目的とし、次の教育目標を定める。

教育目標：「明るく 元気に 頑張る子」

- ・物を大切にする子
- ・思いやりのある子
- ・お友だちとたくさん遊ぶ子
- ・お話をよく聞くことができる子
- ・思ったことがはっきり言える子
- ・考える力のある子

2、令和元年度の事業計画及び重点目標

事業計画～「緑いっぱい自然の中で輝く学園」として豊かな心が育つ保育の推進

- ① 「有徳の人」づくりに向け、園児一人一人を大切に、生き活きと活動できる場の設定
 - ② 園児達の発達段階に応じた援助に努め、自立の基礎を培うため、園児達のモノづくり体験の推進
 - ③ 思いの伝え合いの場づくりを目指し、自立意識の芽生えを育む活動ができるよう教育課程の工夫
 - ④ 小学校への接続が円滑にできるよう、近隣園や保護者・地域と共感し合い、教育機関等との連携強化
- 以上の事項を重点として、教育内容のさらなる向上に努める。

3、評価項目の達成及び取組状況

< A:十分達成されている B:達成されている C:取り組まれているが、成果が十分でない

D:取り組みが不十分である>

評価項目	自己評価		学校関係者評価	
	結果	内容・理由等	結果	内容・理由等
1、保育内容 (1) 保育の計画性	A	新幼稚園教育要領の進行に合わせて、園の教育理念や方針の許に、園全体・各学年、各クラスの保育計画(指導～週案・日案)を立て、園児一人一人の発達段階に応じた保育に努めている。教育課程では環境構成や表現力の向上に意を注いだ。	A	杉田幼稚園の目標に沿って、教職員が保育を計画的に執行し、日・週案やその反省文を園長・副園長等が毎週初めに目を通し、助言等を行っている旨を、園長の事業報告からも伺い、園全員が一つになっての保育活動を評価する。 また、若手教員が多くなり、自己の活動に追われ、全体を眺めたり、自らが率先して園運営への協力する姿勢の不足が自己評価から伺われる。
(2) 保育のあり方・幼児への対応	B	在園児達の個々の特質などを各教員で共有し、保護者からの的確な情報を得て、毎日の生活を通じ、園児との気持ちをしっかり受け止めるよう声掛けやスキンシップを心掛けている。全学年の園児達の行動や意識の変化を、教職員全体で把握し、園児達を共通理解できるよう相互に情報交換に努めている。		園児達の成長・発達に向けて、教員相互の連絡・連携をさらに前進させ、保護者の信頼を受けて、一人一人が自信を持って、日々の教育活動を実践されることを願います。

2、保育者としての資質・能力	B	<p>本園教員がお互いの立場、役割を把握し合い、対話を大事にしながら、全教員が自己の専門性を高め、保育に自信を持って取り組めるよう、園外との公開保育を基に、各自の研鑽を積み、専門性を高めたい。</p> <p>また、若い教員が多いので、先輩は後輩指導に意を用い、保育活動に努める。</p>	A	<p>教員の年齢層が若くなり、全員が相互に補い合いながら、個々の教員の力量向上に努める姿を向うことができた。</p> <p>さらに、幼児教育無償化の中で教育の質向上が求められており、日々の研鑽を積むと共に、教育課程の充実を目指した研修計画を樹立し、特に、公開保育など他園との交流・実践を通じ、教員全体の質の向上を目指して欲しい。</p>
3、保護者への対応	A	<p>園の教育目標に、保護者や地域との共感し合う教育活動を展開しており、バケツ稲づくり、カレーづくり体験では、園児と保護者の協働作業によって成果を楽しんでいる。保護者面談の日を定めるなど、保護者と教員の連携を深めている。</p> <p>情報交換のお便り帳では、写真や絵柄を挿入する等工夫をして、家庭との共通理解を実践している。</p> <p>また、子育て支援として「たまごちゃん教室」を年14回開設し、未就園児と在園児との交流も進めている。</p>	B	<p>保護者参観は、年4回設定され、親子共同による夏祭りの提灯造りは、ユニークな取り組みで、行事の質を高め、モノづくりによる園児、保護者と教員のコミュニケーション形成は素晴らしい。</p> <p>保護者からの子育てに関する相談（要援助児）等も多くなって、専門的知識も必要となるので、県幼稚園協会の「子育てカウンセラー」との連携を密にされたい。また、地域の子育て支援機関を保護者に啓発し、地域や保護者との体制づくりへの期待が高まっている。</p>
4、地域の自然や社会とのかかわり	C	<p>園・家庭・地域が一体となった教育を進めるため、園行事「すぎのこフェスタ」や「運動会」に区民の参加を啓発し、地域との交流が進んでいる。</p> <p>とりわけ、地域からの要請で、敬老会へ年中児が参加し、地域の方々から熱い応援を頂き、更に年長児は、「茶道教室」を開き、地域の茶道の先生の指導を仰いでいる。</p> <p>教員の自己評価で、教員自身が地域の歴史や神社等に対する知識を深めるとともに、地域の小学校との連携などが、課題（近隣幼稚園との交流会を実施）となっている。</p>	B	<p>園長の事業報告の中で、学園行事への地域の参加を啓発し、年長児の鼓隊が「市消防フェスタ」への出演など、地域との触合いは、園児の人づくりとして社会生活への基盤づくりに役立っている。</p> <p>また、カレーづくり・餅つきを始め、さつま芋やバケツ稲を育てる体験にも地域の協力があり、教員や保護者との協働活動～自然の中で野菜作りや芋掘り、稲作等の体験など、生きた教材を使った学習機会を高く評価する。</p> <p>教員自身が地域の歴史や神社の知識も深めて行く姿勢があるので、今後の実行を期待する。</p>
5、研修と研究	B	年間を通じ、園全体で、研修テーマ(集団活動で変化していくコミュニ	B	公開保育など、他園との交流が実施され、教育者としての資質向上に努めら

	<p>ケーション)を設定し、各種の研修に参加したが、研修を生かした実践活動が欠け、来年度への課題である。</p> <p>今年度の市内10園の公開保育には実施園への参加によって他園の良い所を吸収できた。近隣幼稚園との園児の交流会等の取り組みも適時適切に行うことができた。</p> <p>さらに、小学校との連携や他幼稚園との相互交流研修・公開保育に積極的に挑戦していきたい。</p>	<p>れることを高く評価する。</p> <p>これからは、日常勤務の中でも研修機会を増やし、その成果を教員間で分かち合うなど一層の努力を願いたい。</p> <p>小学校との幼小連携の機会を創るとともに、自己評価に掲出されている他の幼稚園との共同研究・研修など幼幼連携の推進は、今後、是非とも進めて頂きたい事案である。</p>
--	---	--

4、重点目標等に対する総合的な評価結果

結果	内容・理由等
A	<p>年間を通じ、教職員一人一人が、園長や副園長の指導の許で、園全体の保育計画及び月間・週間指導計画の策定に参画すると共に、自己の保育活動に生かす取り組みが日々の園児の生活の中で進めており、評価委員会として高く評価する。</p> <p>学園行事(運動会、すぎの子フェスタ、カレーづくり、茶道教室、高校生との音楽会等)における地域の方々との協働や地域の高校生との音楽会による交流など、富士市と富士宮市の境に位置した当園の立地を最大限に利用した保育活動は、今後も継続されることを切望する。</p> <p>さらに、地元の農業や製紙業などの資源を活かした学習やモノづくりへの参加、さらに富士山の日・おやこんぼの日等を活用する生活体験など、園児の豊かな心を育む上でも効果があった保育活動と思う。そのためには、教員自らが地域(歴史、地形、神社等の教育資源)を学ぶ機会を設定して頂きたい。</p> <p>今後も、園と家庭(保護者)・地域が連絡を密にし、保護者参観日の内容を工夫するなど、よりよい未来の子ども達を育てる環境づくりを期待する。なお、ホームページは、随時見直しを行い、幼稚園を多くの方に理解頂けるよう内容も一層充実されることを切望する。</p>

5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
1、教育計画に基づく地域、保護者と共感し合う教育活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 今年度の自己評価結果を活かせるように年間計画を立て、日々の保育を常に振り返り、見つめ直しながら、新しいよりよい保育活動を進めていく。 杉田幼稚園から地域への情報発信を増やし、特に、学園の主要行事への地域住民の参加を回覧板やHPによって啓発し、保護者や地域等に杉田幼稚園をアピールするとともに、教員自身も地域の歴史、地形、神社を学ぶ。
2、資質向上を目指した研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園教育要領を的確に利用し、要援助児への対応及び地域や保護者との共感し合える新たな課題等をテーマとした教職員の研究活動を充実するとともに、その成果を園内研修で発表するなど、研究・研修体制を強化する。 地域の学校や幼稚園との連携を深め、教職員間の交流や共同研究等を行うとともに

<p>3、学園の防災・危機管理等の徹底</p>	<p>に、教職員のチームワークの良さを、園活動の中で園児達に見せ、伝授していくことで、楽しい園生活を創るよう努める。</p> <p>・「地震等防災対策マニュアル」や「危機管理マニュアル」に沿い、家庭との連携を図り、防災や衛生管理機関等との連絡体制を確立し、的確な避難訓練、情報提供等を実施し、園内遊具の点検・改善整備も行い、防災・危機管理教育さらに、インフルエンザや新型コロナウイルス等の感染症対応など一層充実して行く。</p>
-------------------------	--

6、学校関係評価者

<p>(参加者)</p> <p>・保護者(杉田幼稚園PTA会長) ・地域住民(地区在住) ・学識経験者(地区生涯学習推進会副会長)</p>

令和元年度 学校法人長橋学園 杉田幼稚園 財務情報公開

1.財務状況

【資金収支計算書】

科目	決算額
収入の部	
学生生徒等納付金収入	22,387,388
寄付金収入	298,020
補助金収入	38,602,200
資産売却収入	479,460
不随事業・収益事業収入	9,503,936
受取利息配当金	26,711
雑収入	647,064
その他の収入	6,911,098
資金収入調整勘定	△1,170,015
前年度繰越支払資金	20,596,004
収入の部 合計	98,281,866
支出の部	
人件費支出	49,285,803
経費支出	24,111,935
施設関係支出	5,739,552
設備関係支出	263,800
資産運用支出	5,711,010
その他の支出	1,988,580
資金支出調整勘定	△488,700
翌年度繰越支払資金	11,669,886
支出の部 合計	98,281,866

【貸借対照表】

科目	本年度額
資産の部	
固定資産	299,287,607
流動資産	12,152,701
資産の部 合計	311,440,308
負債の部	
固定負債	4,122,718
流動負債	1,654,500
負債の部 合計	5,777,218
基本金の部	
第1号 基本金	365,036,994
第4号 基本金	6,000,000
基本金の部 合計	371,036,994
翌年度繰越収支差額	△65,373,904
純資産の部 合計	305,663,090
負債及び純資産の部 合計	311,440,308

【事業活動収支計算書】

科目		決算額		
教育活動収支	収入	学生生徒等納付金収入	22,387,388	
		寄付金	298,020	
		経常費等補助金	37,902,200	
		付随事業収入	9,503,936	
		雑収入	647,064	
		人件費	49,807,003	
	支出	経費	29,799,739	
		徴収不能	0	
		教育活動支出計	79,606,742	
		教育活動収支差額	△8,868,134	
		収入	受取利息・配当金	26,711
		その他の教育活動外収入	0	
支出	借入金等利息	0		
教育活動外収支差額		26,711		
経常収支差額		△8,841,423		
教育活動外収支	収入	資産売却差額	479,460	
		その他の特別収入	700,000	
		特別収入計	1,179,460	
	支出	資産処分差額	3	
その他の特別支出		0		
特別支出計		3		
基本金組入前当年度収支差額		△7,661,966		
基本金組入学合計		△5,130,352		
当年度収支差額		△12,792,318		
前年度繰越収支差額		△52,581,586		
翌年度繰越収支差額		△65,373,904		
事業活動収入計		71,944,779		
事業活動支出計		79,606,745		

【財産目録】

科目	金額
基本財産計	299,287,607
運用財産計	12,152,701
資産の部 合計	311,440,308
固定負債計	1,047,800
流動負債計	1,388,676
負債の部 合計	5,777,218
差引純資産	305,663,090
正味財産の部 合計	311,440,308

令和元年度 事業報告

(学) 長橋学園 杉田幼稚園

1、学校法人の実績

昭和54年3月15日に設立以来、40年余の歴史を踏まえ、“豊かな人間性の基礎を育み、健康で明るい素直な子どもの育成”と地域に根ざした幼児教育施設の役割を果たし、学校法人として、地域に役立つ幼稚園に向け、安定した経営を行うことができた。

2、就園児の実績

区分	年長(はと)	年中(ひばり)	年少(ひよこ)	満3歳児(もも)	合計
学級数	2	3	2	1	8
園児数(人)	45(卒)	38	33	11	127

<令和2年3月現在>

3、研修の実績

教職員の園内研修を深める一方、県私立幼稚園振興協会等の外部研修にも積極的に参加し、教職員の資質向上に勤めた。外部研修への参加延べ人数は、41人を数え、免許更新研修、共済事務研修等にも参加した。

4、教育活動(行事)の状況

「明るく元気に頑張る子」を園の目標に、① 園児一人一人が、生き生きと活動できる場づくりを実施した。② 家庭、地域社会及び幼稚園が一体となり連携を深め相互に理解し、共感し合える園づくりとしてバケツ稲作体験教室(苗植え、稲刈り、脱穀、もちつき)、東高オーケストラ音楽会、茶道体験教室等を行った。また、この一環として「おやこんぼ事業」(振興協会主催)を推進した。③ 自然のある環境を活かし、食育・生活体験学習を推進した。④ 小学校への接続が円滑にできるよう、教員による幼・小交流、幼幼連携を図った。なお、25年度から始まった満3歳児保育も活発に実施している。

<主要学園行事の実績>

年月	行事	年月	行事
令1.4	・入園式、始業式・内科検診、春の遠足(三津水族館)	令1.10	芋ほり及び稲刈り・脱穀体験
// 5	・歯科検診、保育参観、さつま蔓挿し、ひまわり種蒔き	// 11	・防災訓練(引渡し)、富士宮市消防フェスティバル鼓隊演奏、生活発表会
// 6	・防災訓練、子育てフェア、カレーづくり食育体験、土曜参観	// 12	・餅つき体験・クリスマス会、宮東オケ、幼幼連携、終業式
// 7	・すぎの子フェスタ、こどもの国水遊び、音楽鑑賞、終業式	令2.1	・始業式、雪見遠足、まゆだまつくり(飾り)

11 8	・夏期保育(流しソーメン、スイカ割)、中学生職場体験受入	11 2	交通安全教室、豆まき、茶道体験教室、保育参観、お店屋さんごっこ、縄跳び
11 9	・始業式、運動会、防災訓練、落花生堀、杉田敬老会出演	11 3	・お別れ遠足(まかいの牧場)、お別れ会、卒園式(規模縮小)、終了式

5、施設・設備整備の状況

- ・園児の安心、安全確保のため、施設、設備の点検を実施するとともに、遊具等点検(年9回)を行った。前年度末に設置した「防犯カメラ装置」によって園舎内外の保安に役立っている。
- ・施設設備に関しては、外部トイレ新設(4,806千円)、運動場補修、園庭入口柵を施工した。
- ・通園バス(2台)の老朽化解消のため、2台を廃車し、新バス1台整備(4,418千円)した。

6、管理・運営関係の実績

- (1) 預かり保育
- (2) 通園バスの運行
- (3) 園庭開放事業(子育て支援「たまごちゃん教室」事業)
- (4) エコ教育の推進と古紙回収
- (5) 教育実習の受け入れ
- (6) PTA活動の充実
- (7) 幼児教育無償化(保育料16,000円→24,000円・令2年度改定)への対応事務(新規)
- (8) 新教育要領に基づく教育課程の充実
- (9) 「杉田幼稚園」ホームページの改良
- (10) 私立幼稚園教育研究東海北陸大会への参加
- (11) 学校評価の徹底を行った。
- (12) コロナウィルス感染症への対応(お別れ遠足、式典～卒園式、PTA関係会議等の縮小又は中止)